

2025 年度 一般選抜Ⅰ期【英語】 出題意図

日常的な話題、最近の社会的な話題に加えて、健康や医療に関する話題をそれぞれ取り上げて、幅広い関心に基づいた英語力を有していることを目的としている。具体的には、会話表現や、一定の長さの文章を読み、概要を理解する処理能力を測るよう作成した。

高校卒業程度の英語力を基盤とし、単なる語彙力より基本的な文の構造に関する知識を活用して、解答できる形式とした。また、日常的に現代社会で起こっていることや健康や衛生に関心を持ち、自らの考えを持っていることが、読解の難易度下げるような題材と設問とした。

問題 1 は会話のやりとりを 3 問出題した。問題 2 は一定量のやりとりの内容を理解し、空所補充することで会話全体を成立させる問題で設問は 6 問とした。問題 3 は、文の構造を問う空所補充問題を 1 2 問とした。

問題 4、5、6、及び 7 は 200 から 300 語の文章を読んで設問に答える問題とした。問題 4 は、日本の文化に関して外国人の質問に答える場面（約 320 語）を設定したが、文化に関する知識がなくとも表現を知っていれば答えられる空所補充などの設問を 5 問出題した。問題 5 は、危険な富士登山を防ぐための入山規制についての記事（約 280 語）である。ニュースや新聞で頻繁に取り上げられ、入山料徴収が議論の的となっていた。主に全体の意味理解を問う設問と理解に基づき適切な文を完成させる設問を合計 5 問主題した。問題 6 は、大学生活に関して大学生が作文（約 200 語）している設定である。シンプルな文章で設問もわかりやすく 4 問出題した。問題 7 は、ストレスの影響やその理由、ストレスを押さえる方法などを簡単に解説した文章（約 200 語）を読み、内容理解の設問と、概要を日本語で記述する設問をそれぞれ 1 問とした。